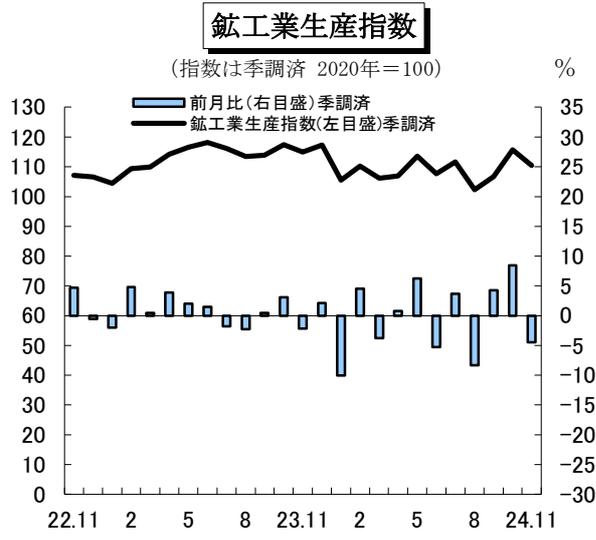


あいち経済の動き（月報）

（2024年11月分）

生産：鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比4.5%の低下



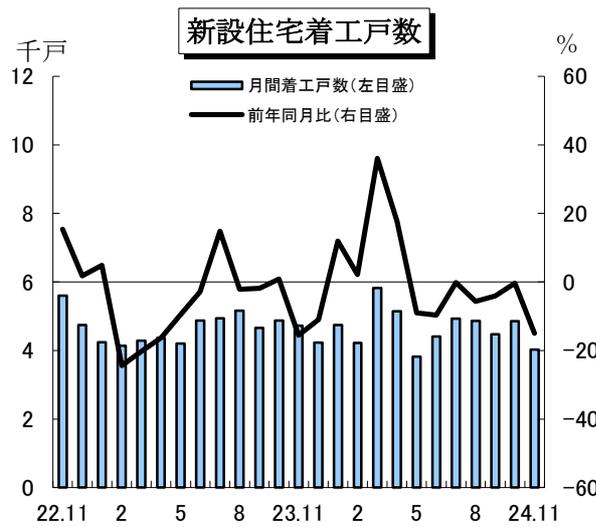
2024年9月	10月	11月
→	↗	→

主な指標の動き

鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比で、輸送機械工業が7.4%低下するなど、全体で4.5%の低下となりました。

また、鉱工業生産指数(原指数)は、前年同月比で、輸送機械工業が7.4%低下するなど、全体では5.7%の低下となりました。

投資（住宅建設）：新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比14.9%の減少



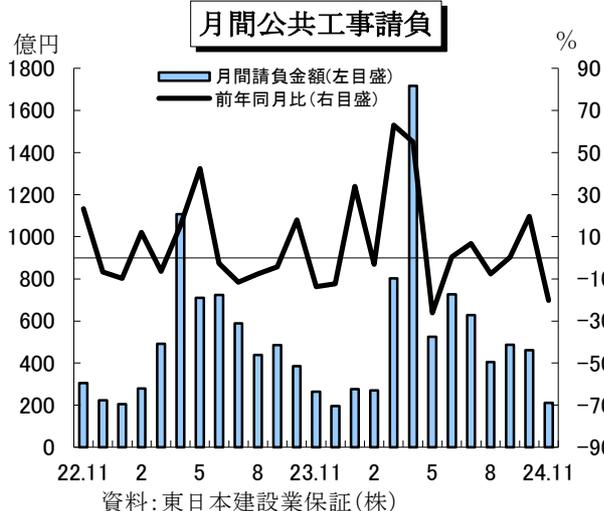
2024年9月	10月	11月
→	↘	↘

主な指標の動き

新設住宅の月間着工戸数の前年同月比は、14.9%減となり、7か月連続の減少となりました。

主な内訳は、持家が17.2%増加し、貸家が31.2%、分譲住宅が20.8%減少となっています。

投資（公共工事）：公共工事の月間請負金額は、前年同月比20.3%の減少



2024年9月	10月	11月
→	↗	↘

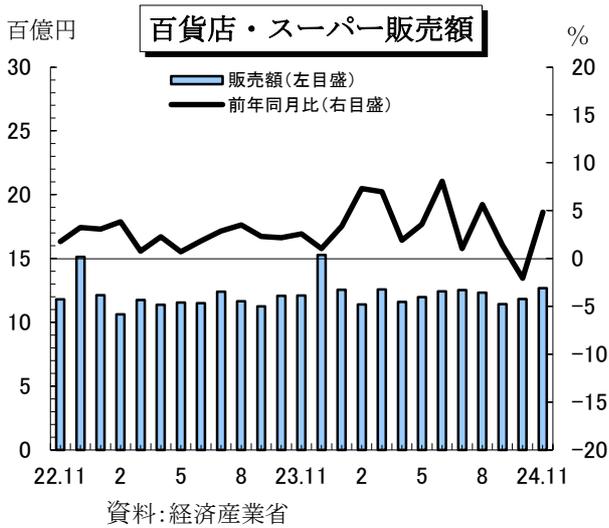
主な指標の動き

公共工事の月間請負金額の前年同月比は、20.3%減となり、3か月ぶりの減少となりました。

月間請負件数の前年同月比は、6.0%減となり、2か月ぶりの減少となりました。

※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

個人消費：百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.8%の増加



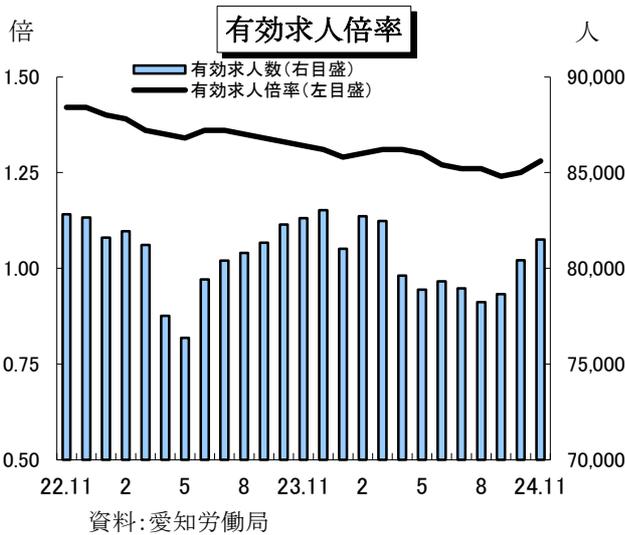
2024年9月	10月	11月
→	↘	→

主な指標の動き

百貨店・スーパー販売額の前年同月比は、4.8%増となり、2か月ぶりの増加となりました。

内訳として、百貨店販売額の前年同月比は、衣料品が7.7%増となるなど、全体では7.4%の増加となりました。スーパー販売額の前年同月比は、飲食料品が4.0%増となるなど、全体では3.7%の増加となりました。

雇用：有効求人倍率は、1.28倍



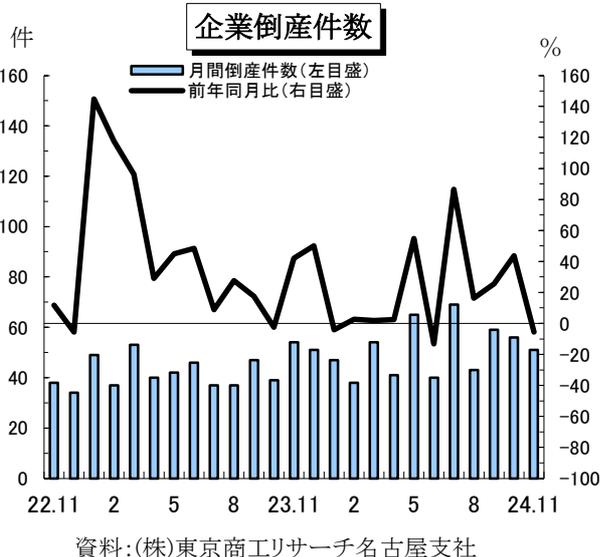
2024年9月	10月	11月
→	→	↗

主な指標の動き

有効求人倍率は、1.28倍と2か月連続の上昇となりました。

有効求人人数の前年同月比は、1.3%減となり、6か月連続の減少となりました。

企業（倒産）：月間倒産件数は、前年同月比5.6%の減少



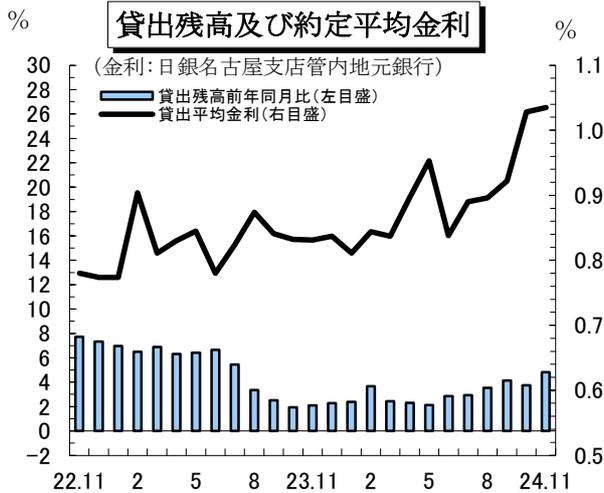
2024年9月	10月	11月
↘	→	↗

主な指標の動き

企業の月間倒産件数は51件となりました。また、前年同月比では5.6%減となり、5か月ぶりの減少となりました。

業種別にみると、倒産件数の多い順にサービス業他が23件、製造業が10件、建設業が7件、卸売業が6件、小売業が3件、不動産業、運輸業が各1件となっています。

企業（金融）：貸出残高は、前年同月比4.8%の増加



資料:日本銀行名古屋支店

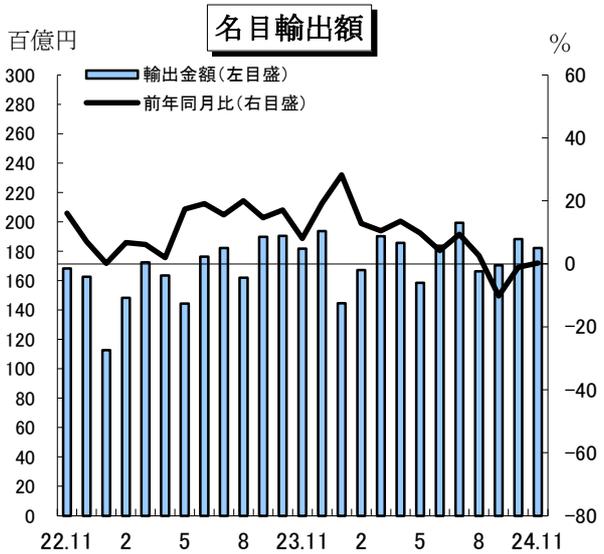
2024年9月	10月	11月
↗	↗	↗

主な指標の動き

貸出残高の前年同月比は、4.8%増となり、30か月連続の上昇となりました。

※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。

貿易（輸出）：名目輸出額は、前年同月比0.2%の増加



資料:名古屋税関

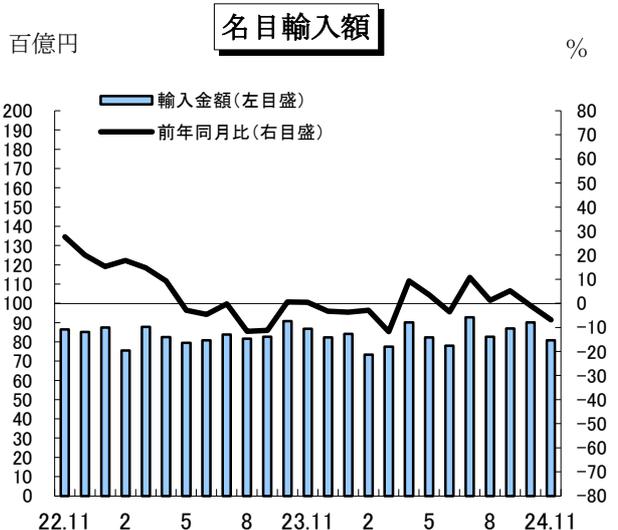
2024年9月	10月	11月
↘	↘	→

主な指標の動き

名目輸出額の前年同月比は、0.2%増となり、3か月ぶりの増加となりました。

内訳を地域別にみると、アジア向けが1.7%増加し、EU向けが14.7%、北米向けが6.1%の減少となりました。

貿易（輸入）：名目輸入額は、前年同月比6.9%の減少



資料:名古屋税関

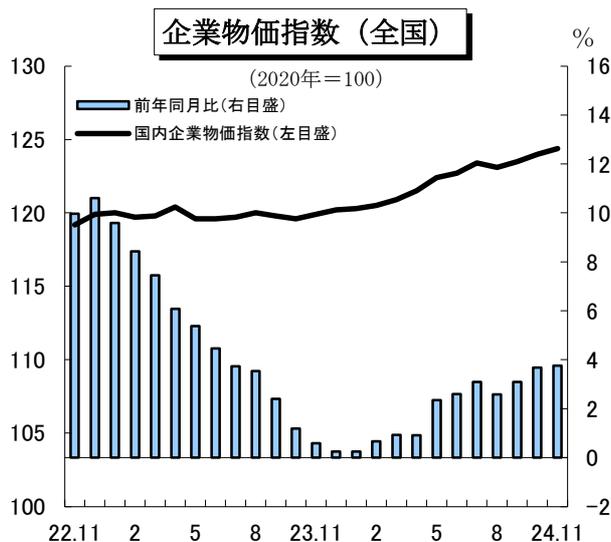
2024年9月	10月	11月
↗	↘	↘

主な指標の動き

名目輸入額の前年同月比は、6.9%減となり、2か月連続の減少となりました。

内訳を地域別にみると、北米からの輸入が5.1%増加したものの、アジアからは2.9%、EUからは0.4%の減少となりました。

物価（企業物価）：企業物価指数は、前年同月比3.8%の上昇



資料：日本銀行

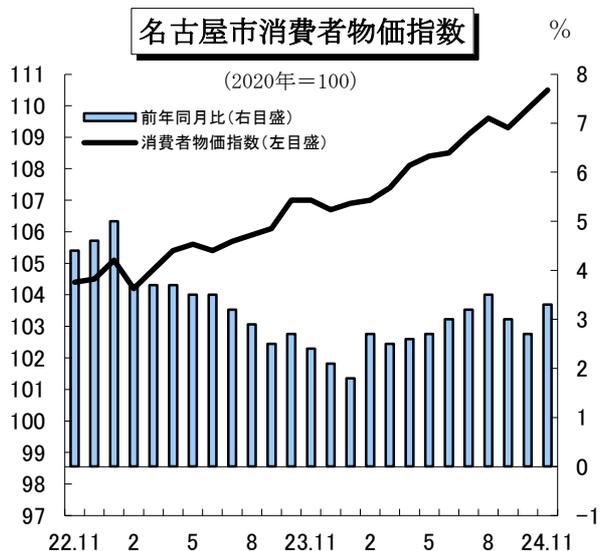
2024年9月	10月	11月
↗	↗	↗

主な指標の動き

国内品の企業物価指数(2020年=100)は、124.4となりました。また、前年同月比は3.8%上昇し、45か月連続の上昇となりました。

前月比では0.3%の上昇となりました。

物価（消費者物価）：名古屋市消費者物価指数は、前年同月比3.3%の上昇



資料：総務省統計局

2024年9月	10月	11月
↗	↗	↗

主な指標の動き

名古屋市消費者物価指数(総合)(2020年=100)は、110.5となりました。また、前年同月比は3.3%上昇し、37か月連続の上昇となりました。

前月比では0.6%の上昇となりました。

(注) 矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

経済指標の矢印判定の推移

	2024年 6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産	→	↗	↘	→	↗	→
投資(住宅建設)	↘	↘	→	→	↘	↘
投資(公共工事)	→	→	→	→	↗	↘
個人消費	↗	→	↗	→	↘	→
雇用	→	→	→	→	→	↗
企業(倒産)	↗	↘	→	↘	→	↗
企業(金融)	↗	↗	↗	↗	↗	↗
貿易(輸出)	→	→	→	↘	↘	→
貿易(輸入)	→	↗	→	↗	↘	↘
物価(企業物価)	↗	↗	↗	↗	↗	↗
物価(消費者物価)	↗	↗	↗	↗	↗	↗
↗	5	5	4	4	5	5
→	4	3	3	2	1	1
↘	1	2	1	2	4	3
⇨	1	1	3	3	1	2

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

		使用データ	矢印判定基準
生産		愛知県県民文化局統計課「愛知県鉱工業指数」 ／生産指数（鉱工業）	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
投資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工戸数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
個人消費		経済産業省「商業動向統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」 ／大型小売店販売額合計（百貨店＋スーパー）	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
雇用		愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑：有効求人倍率1超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1未満かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外
企業	倒産	(株)東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同士の対3か月前比プラス →：上記以外
	金融	日本銀行名古屋支店「都道府県別預金、現金、貸出金（国内銀行）」／貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
貿易	輸出	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
	輸入	同上／名目輸入額	同上
物価	企業物価	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
	消費者物価	総務省統計局「消費者物価指数」／名古屋市（総合）	同上
区分	上昇  横ばい  下降 		

(注) 1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↘”を、下降の場合は“↙”を表示する。